



日本語文化学会

第43回研究会

2011年12月3日(土)

お茶の水女子大学 共通講義棟1号館

3階 (正門からお越してください)

参加費: 500円

(予約不要※直接会場までどうぞ)

同日開催
大学院進学説明相談会
 日時: 12月3日(土)11時～
 会場: 共通講義棟1号館404教室
入場無料

①総会・開会挨拶・ポスター紹介 午後1時30分～ 304教室

②ポスター発表 午後2時～2時50分

402教室: 「文章理解における要点関係図作成活動の影響—中級者と上級者の比較—」

田川麻央 (お茶の水女子大学大学院生)

「日本人日本語教師の外国・外国人イメージに関する事例研究」

八若寿美子、池田庸子 (茨城大学留学生センター)

「2011年度多文化共生日本語教育実習報告—持続可能性をテーマとした実習における実習生のふり返り—」

趙有珍、後藤美和子、Skender-Lizatovic Maja、斎瀟瀟、公平、桃井菜奈恵 (お茶の水女子大学大学院生)

403教室: 「持続可能な多言語多文化共生社会を築く「共生日本語教育」の可能性—言語的共生体を観点に—」

半原芳子 (お茶の水女子大学大学院院生)

「日本語教員養成課程を経験して大学生が得た自己認識」

武田知子 (恵泉女学園大学)

「中国の大学における持続可能性日本語作文教育の可能性」

劉娜 (お茶の水女子大学大学院院生)

404教室: 「持続可能性を追求する研究生のためのアカデミック日本語教育」

張瑜珊 (お茶の水女子大学大学院生)

「教科学習支援における母語支援者の当事者参画の可能性—言語少数派の子どもの支援環境構築に向けて—」

宇津木奈美子 (帝京大学)

「低学年で来日した言語少数派の子どもの言語生態の保全

—親から子への文化継承を支える学習支援の提案—」

滑川恵理子 (お茶の水女子大学大学院生)

③口頭発表 午後3時～5時10分

| | 3時～3時40分 | 3時45分～4時25分 | 4時30分～5時10分 |
|----------------|---|--|---|
| 第1分科会 301教室 | 江副文法による文構造を 可視化した授業実践 大山シアノ (カイ日本語スクール) | 問題提起型ワークショップの企画を 通じて運営側が目指したもの —involve sessionの提案— 鈴木寿子(お茶の水女子大学)、 トンプソン(平野)美恵子(淑徳大学)、 後藤美和子(お茶の水女子大学大学院生) | ニューカマー韓国人の子どもに対 する教育戦略—東京韓国学校と 日本の公立学校の違い— 朴貞玉 (お茶の水女子大学大学院生) |
| 第2分科会 303教室 | 韓国観光ガイドの日本語案内 の分析—敬語を中心に— 李奎台 (お茶の水女子大学大学院科目履修 生) | 母語話者と学習者の談話における 指示詞の使用 —接触場面のデータを用いて— 呉映璇、張晉璋 (お茶の水女子大学大学院生) | 初対面接触場面の会話における 人称詞の使用実態について 金青華 (お茶の水女子大学大学院研究生) |
| 第3分科会 203教室 | ロシアにおける知識の構築を 目指した文語クラスのデザイン —書き換えとグループワークに 着目して— マフラコワ・アレクサンドラ (お茶の水女子大学大学院生) | 事前準備、日本語母語話者を導入した グループワークの試み —中国の大学における日本語専攻 クラスの会話授業を通して— 秦松梅 (お茶の水女子大学大学院生) | インタビュー調査から見た 在日ブラジル人学校の高校生が おかれる言語生態の実態 山口優希子 (お茶の水女子大学大学院生) |

④総括 (各分科会の報告) 午後5時15分～

■交流会 午後6時～

お茶の水女子大学 日本語文化学会

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

E-mail: genbun@cc.ocha.ac.jp

(お茶の水女子大学大学院 日本語教育コース助手室内)

http://jsl2.li.ocha.ac.jp/genbun/kenkyukai.html